



Company Profile

竹内製作所



企業理念

世界初から世界のTAKEUCHIへ。

私たちは、創造、挑戦、協調の精神で切磋琢磨しTAKEUCHIのものづくりを追求します。
グローバルな視野と感覚をもって、お客さまに信頼される商品とサービスを提供します。
一人ひとりがつまみ力を活かし、地球にやさしく、豊かな社会の実現に貢献します。

パーパス

- ・全世界の人々の幸福で豊かな暮らしに貢献する
- ・当社グループの成長とともに、幸福をステークホルダーと分かち合う

社是

創造

豊かな感性をもって、ニーズに応えた商品開発をする。

挑戦

夢と若さをもって、より高い目標に向かって果敢に行動する。

協調

和と思いやりの心をもって、調和の取れた社会との共生を図る。



会社概要 (2026年2月28日現在)

商号 (英文社名)	株式会社竹内製作所 TAKEUCHI MFG. CO., LTD.
本社	〒389-0605 長野県埴科郡 坂城町上平205番地
設立年月日	1963年8月21日
資本金	3,632百万円
事業内容	建設機械の開発、製造及び販売
従業員数	1,366名 (連結)

役員の状況

代表取締役会長	竹内 明雄	取締役 (常勤監査等委員)	草間 稔
代表取締役社長	竹内 敏也	社外取締役 (監査等委員)	岩淵 道男
常務取締役	横山 浩	社外取締役 (監査等委員)	宮田 裕子
取締役	Clay Eubanks	社外取締役 (監査等委員)	織 英子
		社外取締役 (監査等委員)	安藤 国威

拠点情報

国内	本社工場	長野県埴科郡 坂城町	海外	米国	TAKEUCHI MFG.(U.S.), LTD.
	青木工場	長野県小県郡 青木村		英国	TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD.
	戸倉工場	長野県千曲市		フランス	TAKEUCHI FRANCE S.A.S.
	東京営業所・ 東京オフィス	東京都港区		中国	竹内工程機械 (青島) 有限公司
				ドイツ	欧州駐在員事務所
				オランダ	欧州パーツセンター

ミニショベル



住宅建設



公共施設・商業施設の
建築、修繕



インフラ整備



都市緑化



小型で操作性が良く、住宅・インフラ・建設投資で活躍



クローラーローダー



農作業



森林整備



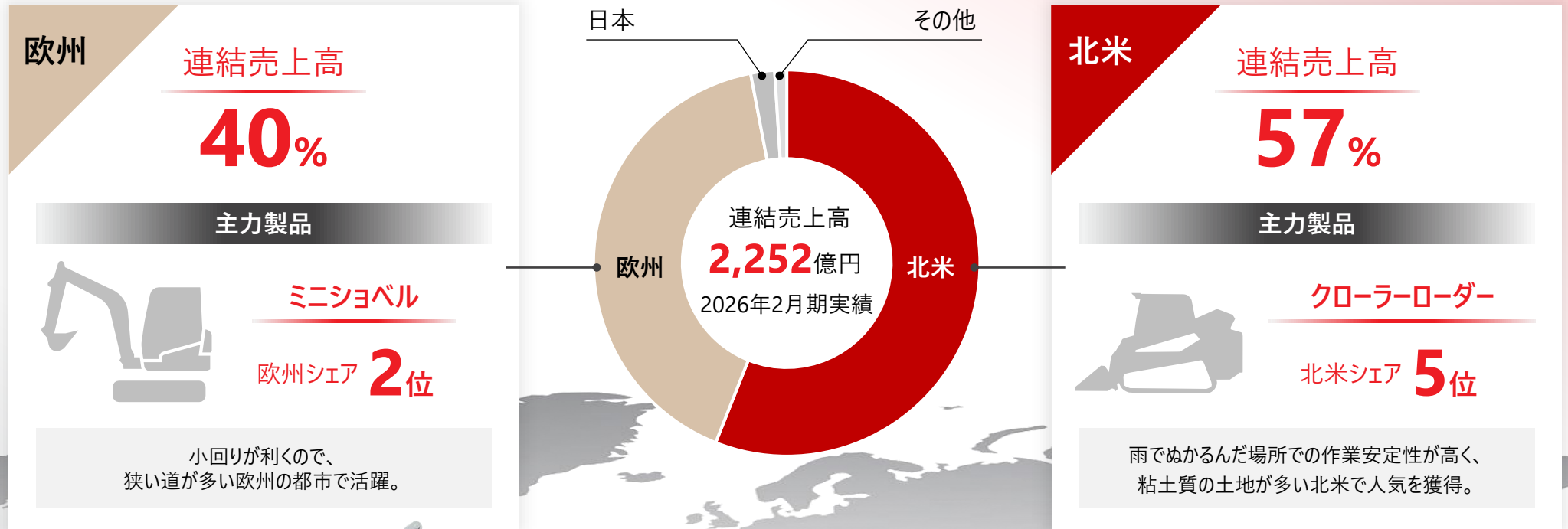
建材運搬



災害復興

アーム先端のアタッチメントを変えることで林業や農業にも活用可能

世界で初めてミニショベル・クローラーローダーを開発し
いまも世界最高品質の **TAKEUCHI** 製品を届け続けています。

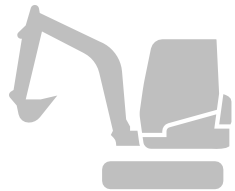


欧州

連結売上高

40%

主力製品



ミニショベル

欧州シェア **2**位

小回りが利くので、
狭い道が多い欧州の都市で活躍。

北米

連結売上高

57%

主力製品



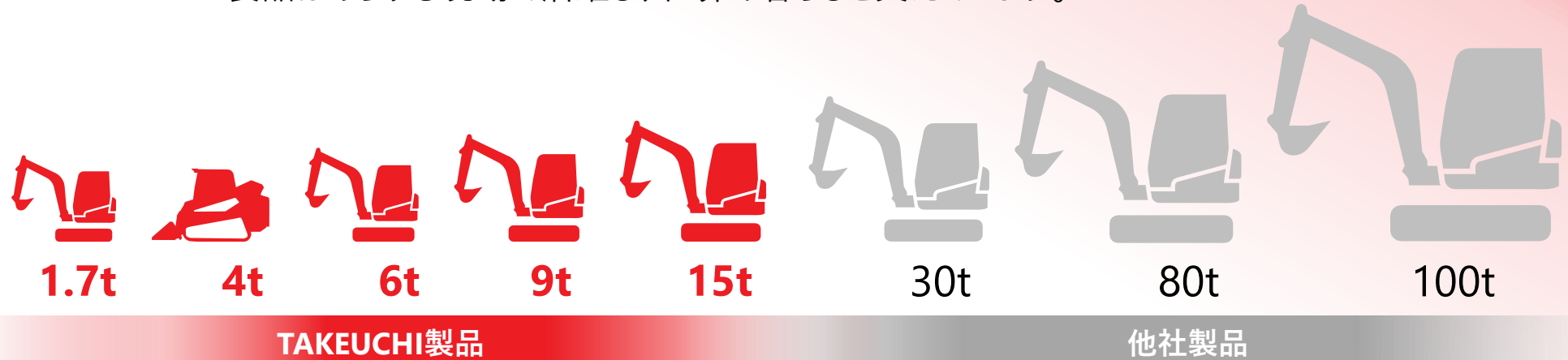
クローラーローダー

北米シェア **5**位

雨でぬかるんだ場所での作業安定性が高く、
粘土質の土地が多い北米で人気を獲得。



TAKEUCHI 製品はあらゆる現場で活躍し、世界の暮らしを支えています。



TAKEUCHIのミニショベル、クローラーローダーは**9t未満**のものがメイン

主に、居住区域での小規模な工事で活躍

- 住宅関連（基礎工事）
- 交通インフラ（生活道路、鉄道）
- ライフライン（水道、下水道、ガス、電気）
- 建設投資（工場、商業施設、公営施設）
- 都市緑化（造園、植樹、ガーデニング）
- 災害復旧（地震、ハリケーン、山火事）
- その他（農林業、解体、粉砕）



世界の現場が認める **TAKEUCHI** 品質

パワフル	耐久性	操作性	快適性	メンテナンス性
				
都市型工事に対応できる 十分なパワー・掘削量	厳しい環境・条件で 壊れにくい	オペレーターの意のままにコント ロール可能	広い居住空間・ 快適なシートなど 疲れにくい運転環境を整備	点検・修理しやすい 内部構造で長く使える

ユーザーの声に真摯に向き合う体制

開発・製造

ユーザーの要望をもとに製品開発し
日本・米国・中国工場が
それぞれの役割を担って
高品質な製品を効率的に製造



販売

海外子会社3社と
世界中のディストリビューターで
ユーザーの要望をヒアリング



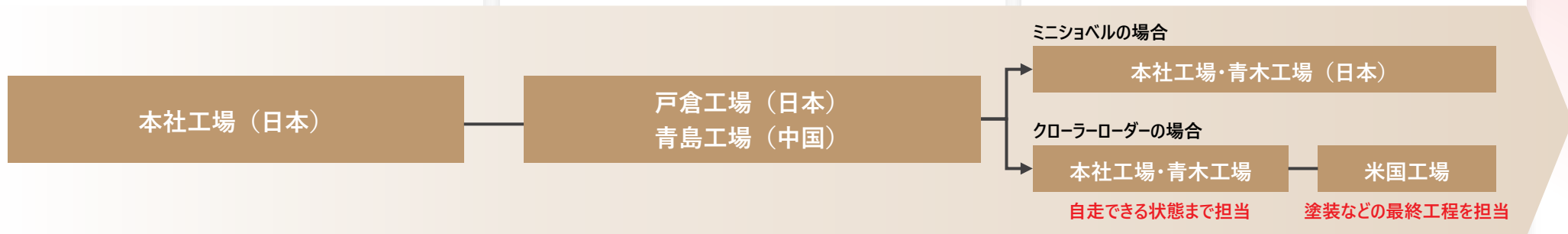
開発・設計



製缶品製造



組み立て・塗装



機種ごとに最適なエンジンや油圧機器を組み合わせる
すりあわせ技術が強み

なめらかな **操作性** を実現

アームや本体などの製缶品を
長年のノウハウで
より頑丈に製造

耐久性 を上げて壊れにくく

需要が高まるクローラローダーは
各工場で役割を分担
(SKD生産)

生産効率 を上げる

世界初から「世界の **TAKEUCHI** へ」、成長を続けてきました。

1963～



創業、1971年に世界初のミニショベルを開発

大型ショベルが普及する一方、狭い場所では手作業の重労働で工事していた。

狭小地での工事に最適なミニショベルは、土木事業者から一気に支持を得た。



世界初のミニショベルを開発した創業者・竹内明雄（右）

1975～

ミニショベルのOEM製造を開始

大手建機メーカーへのOEM供給により、厳しい品質基準を求められて技術は向上。

OEM供給先のメーカーが自社生産に切り替え、売上が伸び悩む。

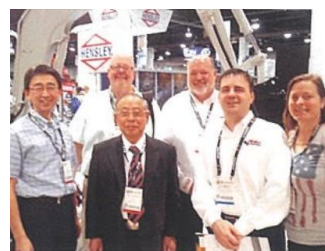


1979年、本社工場内に第二組立工場を新築増設

1986～

世界初、クローラーローダーを開発

日本市場では大手建機メーカーで寡占状態となっていたため、海外に目を向けた。強粘土質で雨も多い米国で最適なクローラーローダーを開発、現地で高い評価を受けた。



米国に進出し、展示会でミニショベルを披露

2000～

TAKEUCHIブランドが世界に広がる

長い稼働時間、過酷な使われ方をする欧米において、耐久性に優れたTAKEUCHI建機は高い評価を得た。

イギリス、フランス、中国にも子会社を設立し、事業はグローバルに。



ベルリンの壁の崩壊の際に、使われたのもTAKEUCHIの建機

2020～

さらなる事業拡大へ

2022年に米国工場、2023年に青木工場を開設。

より細やかな顧客ニーズに応えられるように。



2022年、米国工場を開設

Building Excellenceをスローガンに掲げ、第四次中期経営計画の達成に挑戦します。

基本方針

ハイクオリティ

世界最高品質の
小型建設機械の
開発・製造・販売

ハイパフォーマンス

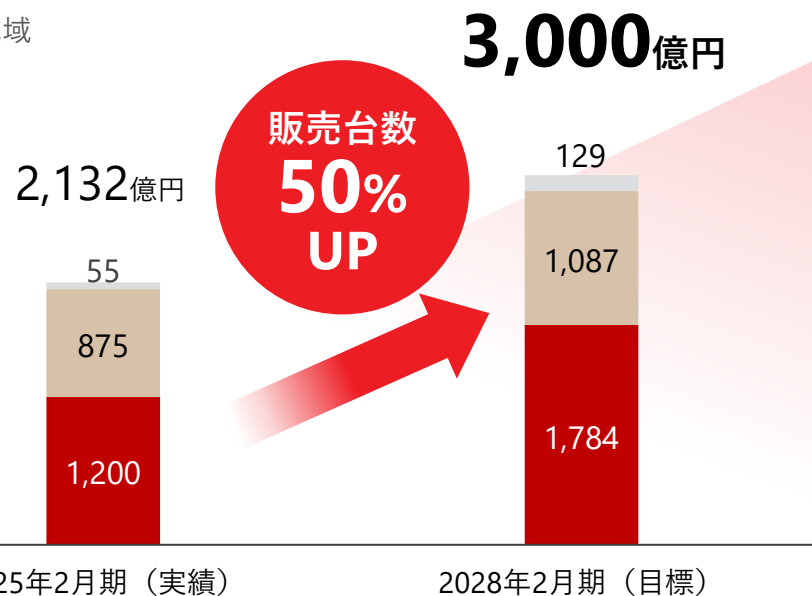
売上高・利益の拡大
株主への利益還元の強化

ハイエンゲージメント

株主・投資家、社員、
バリューチェーンとの積極
的かつ丁寧な対話

売上高

- その他地域
- 欧州
- 北米

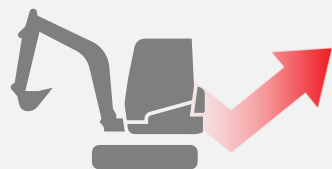


数値目標	2025年2月期 (実績)	2028年2月期 (目標)
連結売上高	2,131億円	3,000億円
アフターパーツ売上	173億円	208億円
営業利益	371億円	520億円
営業利益率	17.4%	17.3%
1株あたり当期純利益	552円	800円
ROE (自己資本利益率)	16.6%	17%以上

販売網の拡充



業績好調な
クローラーローダーは
さらに販売を拡大



ミニショベルは
業績回復を目指す



アフターパーツの
販売も強化



オセアニア市場にも
販売を拡大

人的資本への投資



いきいきと働く職場環境実現のため
3年間で**80**億円投資

生産機種の再編成とローダー新工場の建設



ショベルの**生産能力**を
ローダーに**振り分け**



クローラーローダーの
新工場も設立

その他

電池式ミニショベルのラインナップの拡充など
サステナビリティ経営を推進していきます。

TAKEUCHI

株式会社竹内製作所

〒389-0605 長野県埴科郡坂城町上平205番地

<https://www.takeuchi-mfg.co.jp/>